



吹奏楽部 2年連続東海吹奏楽コンクールに出場で金賞 !!

吹奏楽部は、昨年に引き続き東海吹奏楽コンクールに出場しました。今年の演奏曲はラヴェル作曲「マ・メール・ロワ」。今年は、3年7人、2年15人、1年7人と部員が少なく、編成するのも大変な状況でした。そのため、本校の現状にあった曲にするために、顧問の榊原宏樹先生が編曲して臨みました。フルート、アルトサクソ、オーボエ、ピアノの4つのソロパートを入れた演奏になりました。一人ひとりの確かな演奏力が問われます。この演奏をするために、個々の努力は大変なものだったと思います。また、1年生を含めた全員が演奏するため、準備、片付けに専念できる部員もいません。

7月に行われた西三南地区大会で金賞を受賞し、8月6日(木)に行われた県大会に出場しました。西三南地区大会での演奏を聴いて、今年は1年生も多いので県代表までは難しいだろうと思っていました。しかし、西三南地区大会後、決して妥協せず細部にまでこ

だわった調整を毎日のように行いました。そしてコンクール当日。プレッシャーにも負けず最高の演奏ができたそうです。結果は、昨年に引き続き、金賞に加えて1位の証である県教育委員会賞と朝日新聞社賞を受賞しました。そして、東海吹奏楽コンクールの代表権を取得しました。東海吹奏楽コンクールは8月30日(日)に行われました。結局3年生の引退は夏休み終盤まで伸びました。愛知、岐阜、三重、静岡、長野の各県から代表として選ばれた15校が演奏しました。どの学校もレベルが高く素晴らしい演奏でした。大きな音を響かせ、高らかに演奏する学校。リズムカルに正確に演奏する学校、様々でした。東中は、演奏後、指揮者の振り向きに合わせて全員が一糸乱れず起立します。演奏後のあいさつはどの学校よりも際立っていました。

結果は、金賞。今年の金賞は15校中5校、その中の1校に選ばれました。

吹奏楽部 市長に表敬訪問

8月27日(木) 吹奏楽部の代表7人が表敬訪問をしました。そこで、先日の愛知県吹奏楽コンクールの県教育委員会賞、朝日新聞社賞受賞を市長さんと教育長さんに報告しました。また、部長の園田さんが8月30日(日)に行われる東海大会に向けて抱負を述べ、市長さん、教育長さんから激励の言葉をいただきました。



舞勇伝 ～今この一瞬を刻め～ <体育大会スローガン>

今年の体育大会は9月12日(土)に行います。スローガンは「舞勇伝～今この一瞬を刻め～」に決まりました。このスローガンのもと、本番の体育大会の中でどんなドラマが生まれるか、また、どんな歓声が天目山を揺るがすか、楽しみにしています。なお、当日の開催、延期の連絡は、午前7時までに学校メールで連絡します。天候にかかわる日程変更は以下のとおりです。

体育大会の予定について(天候に関わる予定変更)

| 9/12 | 9/13 | の場合 | 12(土) | 13(日) | 14(月) | 15(火) | 16(水) | 17(木) |
|------|------|-----|-----------------|-----------------|-------|-----------|-----------|-----------------|
| 晴れ | | | 体育大会(弁当) | (休み) | 代休 | 平常 | 平常 | 平常 |
| 雨 | 晴れ | | 休み | 体育大会(弁当) | 代休 | 平常 | 平常 | 平常 |
| 雨 | 雨 | | 休み | 月曜授業(弁当) | 代休 | 平常 | 平常 | 体育大会(給食) |

体育大会の保護者用観覧場所について <学校評価アンケートから>

一学期末にいただいたご意見で「体育大会の保護者の観覧の場所を工夫してほしい」とのご意見をいただきました。生徒の活動や体育大会の運営する上で支障のないよう、観覧場所について制限を加えてきましたが、下記のように少し改めますので、ご承知おきください。

○混雑する応援合戦のとき(午後から)、本部テント右の器具置き場を撤去し応援スペースを確保します。また、来賓テントの後ろ半分を解放します。

○天目山の並木道をプール横まで開放します。(幅跳び等フィールド競技が見やすくなります。)

○昨年同様、タフロープを張り、観覧スペースを明確にします。

一学期をふり返って ～終業式での発表から～

3年1組の力 堀尾 歩見 (3-1)

3年1組は支え合い、励まし合い、どんなことがあっても前を向いて突き進んでいける「前向き」なクラスです。私はそんな1組の姿を修学旅行を通じて見つけることができました。

それは、修学旅行2日目の「夜のつどい」の時です。「秘密のゲーム」として知らされたのが「クラス対抗大縄跳び大会」でした。しかしも種目は一斉跳び。クラス全員の団結力がなくて跳ぶことはできません。また、それだけでなく照明がない暗い中で挑戦でした。予想通り、実際やってみても1回も跳べず、なかなか跳ぶことはできませんでした。そんな時、「ドンマイ!ドンマ

イ!」「もう1回やってみよ。」一人一人が声を出し合い、団結力が高まってきました。何回失敗してもあきらめず挑戦し続ける1組のみんなは本当にかっこよくてキラキラと輝いていました。そして、ものすごく「前向き」です。1組の前向きさは失敗を成功に変えることができる、そう感じました。そんな1組なら、どんなに高い壁も乗り越えることができるはずです。だから、これから始まる体育大会も励まし合い、支えあって突き進んでいけると思います。そして、1組の前向きさを誇りに思い、より一層団結力を深めていきたいです。

一学期をふり返って 中根 夏海 (2-5)

一学期で一番私の心に残っているのは、みどりの学校です。2泊3日を友達とずっと一緒に過ごすのは、とても楽しく、また知らなかった多くのことを学ぶことができました。私がみどりの学校で学ぶことができたのは、全員で協力することです。食事の準備や片づけを全員でやらないと時間が遅れてしまいます。他にもいろいろな場面で、全員で協力することの大切さを学ぶことができました。今後は、スローガンの「ハートフル3C～チャンスにチャレンジ、自分をチェンジ」のように、これからもチャンスを見つけ新しいことにチャレンジし自分をチェンジすることができるようにしたいです。

部活動では、初めて先輩という立場になりま

す。これまで3年生はいつも私たちをまとめてくれていました。そんな先輩方も夏の大会が終わったら引退してしまいます。そこからは、私たち2年生が部活動を引っ張っていかなければいけません。今まで私たちが先輩方にしてもらったことを、次は私たちが1年生にしていきたいです。

2学期には、体育大会や東中祭など、たくさんの行事があります。みどりの学校で学んだことを活かし協力して取り組んでいきたいです。これからは、部活動だけでなく、学校全体を引っ張っていく学年として、みそあじの徹底ができるようにし、当たり前のことが当たり前に行えるようにしていきたいです。

一学期をふり返って 小笠原光梨 (1-2)

私は中学校に入学する前、「友達と仲良くなるだろうか。」「勉強は大丈夫だろうか。」「部活動はどうだろうか。」と不安でドキドキしていました。しかし、中学校生活がスタートし、いつの間にか不安が消えて、今では毎日学校に来るのが楽しみです。

一学期ですごくうれしかったことは、驚塚の新しい友達がたくさんできたことと、小学校の頃はなかった部活動が始まり、毎日が充実したものになったことです。一番の反省点は、勉強です。中学校の勉強は難しいと、自分ではわかっているつもりでした。しかし、中間テストの最悪の結果を見て、わかっていたいなかったことに気がつき、期末テストでばん回することができました。

二学期、特にがんばりたいことは3つあります。

1つ目は、勉強です。自分が「何ができていて、何ができていないのか」をしっかり把握し、できていないところをできるようにしていきたいです。2つ目は、部活動です。いよいよ朝練習も始まります。気持ちを引き締め、筋トレや基本プレーを正確にできるよう、積極的に取り組んでいきたいです。3つ目は、体育大会の応援です。応援リーダーになったので、クラスのみんなをまとめ、精一杯の声を出し、みんなと一緒に感動を味わいたいです。

二学期を一学期以上に良いものにするために、夏休みは3年生の引退後の部活動を今以上に努力したいと思います。勉強も、課題を計画的に行い、力をつけていこうと思います。